

大型直売所の地場産野菜出荷量増加のための 新造型及び新品目の導入支援

農業技術センター北相地区事務所

実施期間：令和4～7年

課題・目的

■旧津久井郡の地域では、JA神奈川つくいの大形直売所「あぐりんずつくい」に出荷する経営体が多い。野菜は特定の品目に出荷が偏り、端境期には地場産の出荷が減少しているため、新たな作型や品目の導入による安定的な生産出荷を支援する必要がある。

■そこで、あぐりんずつくい出荷者組合を対象に、直売品目の新造型及び新品目の導入を支援し、地場産野菜販売額の増加を目指す。

活動内容

■新品目及び新造型の導入のため、個別巡回での栽培技術指導、品目特性や必要資材等を示した栽培手引きを活用した講習会(2回/年)での情報提供、レシピ提示支援を実施し、新造型8件、新品目2件の導入を支援した。

■その結果、あぐりんずつくいの地場農産物販売額が、9,100万円(R2)から9,332万円(R6)と約3%増加し、地場農産物出荷量増加に繋がった。



写真 あぐりんずつくいに並ぶアールサイ

新造型	新品目
ハウススイートコーン 春どりダイコン 抑制エダマメ ハウスコカブ 雨よけ長期どりトマト 半促成ナス 夏まきホウレンソウ 夏まきリーフレタス	促成イチゴ アールサイ

表 導入した新造型・新品目

今後の展開

■あぐりんずつくい以外にも販売先を持つ出荷者が多いことから、新造型及び新品目のあぐりんずつくい以外での出荷状況について確認するとともに、今後、これまでに導入した新造型及び新品目を中心に、生産安定について技術支援を行う。

■過去の取組結果を整理し、調査研究等で現在の気象条件に適した品目について探索し、販売方法を考慮したうえで適したものを抽出する。